

東広島の主婦ら取り組み3年



「きょうはゴーヤチャンプルですよ」と声を掛けながら、食事介助をする陽だまりの会員たち

中国新聞八月十三日

有料福祉サービス好評

利用月250件 家事や外出支援

東広島市高屋の主婦を中心としたボランティアグループ「陽だまり」の有料在宅福祉サービスが人気だ。市内一戸の家庭に赴き、調理や掃除などの家事から介護、外出支援などを手掛ける。行政からの援助もなく、まったくの手作り奉仕だが、口コミで広がり、毎月約二百五十件、五百時間程度の利用依頼がある。

交通事故による頸髄損傷で、車いすの一人暮らしをしている高屋町大島の大竹保行さん(65)は週に四、五回、平均一時間半程度、利用する。調理や食事介助のほか、庭木の枝切りや熱帯魚の水槽の水替えなどもしてもらう。

「公的支援で足りない部分があったり、できない部分をお願いする。値段も安いし、急な変更にも対応してもらえると満足している。」と話す。

七戸のうちの六戸をボランティアした会員に支払い、自費は事務経費に充てる。事務所は会員が自宅を無償提供。事務局は無報酬だ。会員は

陽だまりの利用料は一時間七百円。一九九九年十月に、ボランティア講座で知り合った五、六人が集まって発足した。奉仕する側と利用する側を合わせて約百七十人が会員登録している。利用は市内の高齢者や身体障害者が多い。「調理」「掃除」など、登録時に会員の希望を聞いておいて、利用依頼があると電話で呼び出す。

発足からの会員である高屋町杵原、松山康子(65)は「自転車で行ける範囲だけをお願いしている。週一、三回だけ、心のゆれ合いが楽しいし、何より感謝されるとうれしい」と、やりがいを感じている。

陽だまりは間もなく発足三年。西岡好子代表は「ちょっととした隣同士の年会員千円が必要。一口千円以上の賛助会員も募集している。」

陽だまりは間もなく発足三年。西岡好子代表は「ちょっととした隣同士の年会員千円が必要。一口千円以上の賛助会員も募集している。」

陽だまりは間もなく発足三年。西岡好子代表は「ちょっととした隣同士の年会員千円が必要。一口千円以上の賛助会員も募集している。」

報道されたふたつの「陽だまり」活動

陽だまり活動も複数年を重ねて、その活動内容も充実してきている。しかし、一方で課題もある。会員が増え、活動内容も多岐にわたるようになった。スタッフの問題もある。これらの課題に対しては、検討委員会を設けて鋭意取り組んでいる。今回は、一般紙にとりあげられた、陽だまり活動のふたつの実態について伝えた。会員相互の意見を鼓舞していく材料にできればと思う。



市民福祉活動団体
「陽だまり」事務局
東広島市高美が丘六丁十四丁十一
(0824) 341-1659

☆☆☆☆☆

しばもちで交流深める

陽だまり交流会

七月十八日(木)、六丁目の福屋さん宅で市民福祉活動団体「陽だまり」の地域交流会が開かれました。

今年の十月で二年を迎える「陽だまり」は市民だけの福祉団体で東広島市全域で活動し、現在約一七〇人が会員に登録しています。今回は日頃のヘルパー活動ではなく地域の人の交流を図るイベントとして「しばもち作り」を開催。陽だまりの会員の人や、地域の人が集まり、和気あいあいの雰囲気の中で「しばもち作り」を楽しみました。

二五〇個のしばもち完成！
まずはもち米を粉状にした粉にお湯を適量注ぎ、練り上げます。熱湯を注いだもち米の熱さと力のいる作業に「熱い！熱い！」と汗を流しながらも明るい笑顔をみせていました。練り上がった餅

を待つてましたとばかりに数人が取り囲み、両手で綺麗に丸め、中にあんこを入れます。そして「サルトリイバラ」という綺麗な艶のある「しばの葉」に包んでいきます。後は蒸し上げ、二五〇個のしばもちが完成しました。昔懐かしい味で話もはずむ

今回使った食材は杵原の松山さんが用意したもので、しばの葉は取る時にイガイガで手が痛かったり、一枚一枚洗ったり大変だった様子。「最近ではあまりこういった事をする機会がなくなったので楽しいですね。やっぱり人間食べる事が一番。新年会や春のお花見と、日頃の活動でみなさんと交流を深めています。でも思い付きが多いですけど・・・」と笑顔で話していました。やがて、すべてのしばもちが蒸し上がると、昔懐かしいの味を味わいながらおしゃべりに花を咲かせました。

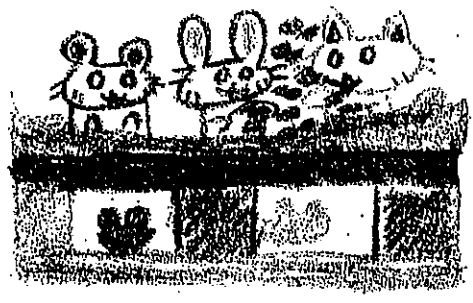


しばもちの量の多さに大忙し

陽だまり抄

陽だまりの活動も、日常の福祉活動に添えて次第にその場を広がっている。それがしばもちづくりであったり、バザーであったり多岐にわたるようになった。▲学校の夏休みを利用して、ことしは、陽だまり主催の「夏休み

ハンドクラフト教室」が開かれている。くわしくは次号で報告するが、陽だまり抄子は「第三回目のパラシュートと紙飛行機」に出てみた。▲参加した二十四名の小学生は自ら進んで参加しただけあって、おとなの指示に頼ることもなく自主的に懸命に取り組んでいる。▲とりわけパラシュートの絵づけには子どもたちの個性がそれぞれにじみでていてまことに興味深い。▲子どもに絵を書かせてその絵から本人のさまざまな面を発見する人に出会ったことがある。その性格、心理描写まで言いあてて感銘したことがある。▲思うに子どもはことばの数が少ない。箱庭を作らせたり、絵でもって本人のことを理解しようとする場合がある。しかし、その解釈はあくまで専門家でなければならぬ。(吉)



陽だまり抄

- やわらかな土の中よりアスパラのちひさきその芽をいとしむ
- 待ち侘しひと雨さつと通り過ぎ車窓の外に映ゆる緑よ
- 陽だまり文芸
- 進藤素喜
- 病む妻に癒ゆるを願ひ梅活ける
- 千幹の紅白ひらく梅の丘
- 待ちあひし庁舎まきまり吾子の春



自己責任の時代へ—問われる医療問題

今年度の「第一回生涯学習講座」が、平成十四年度市教育委員会委託事業の陽だまり主催の市民のための地域福祉講座が、七月六日、東広島中央公民館において開催された。

第一回は「どうなる日本の医療」というテーマで、広島県立女子大学助教授の金子努先生を講師としてお迎えし多数の市民が参加して盛況のうちに終えられた。

医療改正は直接私たちの生活に大きな影響を及ぼすとあって、先生の一言一句も聞きもらずまいという参加者の真剣さがみながぎつていた。新聞やテレビ等で見聞きするだけでは理解しにくい専門的な内容、たとえば医療改正の動向、特定医療費の内容、保険給付などポイントをついた説明で、分かりやすく理解することができた。

また老人外来一部負担金等の改正に伴う私たちの疑問や不安にも応えていただいた。



金子助教授による講演風景

先生は最後に「医療問題は決して他人ごとでなく自分の問題として捉え平素から勉強していく必要がある。これからは自己責任の時代である。また医療機関の窓口などで掲示してある説明書きを読んで理解すること、また分からないことは遠慮しないでたずねること。つまりインフォームドコンセント(説明と同意)が大切である。」ということであった。

私たちが地域で心豊かに暮らすために、また安心して医療を受けるためにも今回のような講座を積極的に開催し、学習する機会の大切さを主催者のひとりとして実感した講座であった。(廣瀬長子)

お年寄りの脱水 若い人でも、夏の炎天下でスポーツをしているときなど「脱水」を起すことがあります。脱水の兆候としては、①尿が少なくなる、②軽いめまいがする、③皮膚がいつもより乾燥している、④体温が上昇、高熱がでる、⑤脳へ十分な血液が行き渡らず意識がもうろうとする。脱水がひどくなると、生命に危険を及ぼす。脱水は、暑い日や発熱時多くの汗をかいたとき、下痢や嘔吐のとき、また熱い風呂で汗をかいたとき等に、水分補給が不足すると起こりやすくなります。脱水状態が続くと、心筋梗塞、血液中の水分も少なくなると血液が濃くなり、血液が固まることになり、心臓の冠動脈に塊が詰まると起こる。脳梗塞、脳の血管に血液の塊が詰まると起こる。

ニカワの一口健康メモ 一 第四回 二 川 尚美 (本会顧問・看護師)

愛情と世話によつてすくすくと育っていくのである。しかし、次第に成長するにつれて親子の関係は希薄になってくる。遂には親の死によつて私たちのうちは、永遠の別れになる。いつてみればその関係はVの字のかたちに見える。このタイプが親子関係の典型である。この関係の問題点は思春期にある。(もちろん他のタイプも同様である)すなわち、だれでも思春期にさしかかると、子による親はなれ、親による子はなれ現象が起きてくる。それが、いわゆる反抗期であり、さまざまこの期での独特の現象が起こってくる。もちろん個人によりその時期の遅い、早いはあるものである。今回はAタイプについて述べることにする。



子育てシリーズ(3)

廣瀬 吉夫

立秋が過ぎ、まだまだ暑い日が続いています。暑い日が続くと秋を思わせるこの頃です。会員の皆さんお変わりありませんか。陽だまり通信第七号をお届けします。今夏の暑さは格別ですが、どうぞ夏はてにひるむことのないよう、これからの季節にそえてください。(長)

編集後記 立秋が過ぎ、まだまだ暑い日が続いています。暑い日が続くと秋を思わせるこの頃です。会員の皆さんお変わりありませんか。陽だまり通信第七号をお届けします。今夏の暑さは格別ですが、どうぞ夏はてにひるむことのないよう、これからの季節にそえてください。(長)

事務局だより ○「まなびの会」との交流 去る6/22、「まなびの会」のよびかけで交流会が開催されました。「まなびの会」は、主催のボランティア講座を終了された方々でつくっているボランティア団体です。当日「陽だまり」からは3名が出席し、陽だまりの活動状況を紹介「まなびの会」からも貴重な意見をいただくことができました。有意義な時間を過ごすことができました。「まなびの会」のみなさん、ありがとうございました。

○「福祉健康まつり」に参加決定 毎年恒例となっている「福祉健康まつり」が今年度は東広島運動公園(西条町田口)において「生涯学習フェスティバル」と共催して行なわれることになりました。11/2(土) 11/3(日)の二日間の開催のうち、「陽だまり」は一日のみバザーで参加する予定です。つきましてはご家庭で眠っている有休品や手芸品があれば「陽だまり」に提供していただけないでしょうか。また当日のお手伝いも募集しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

○「市民のための地域福祉講座」スタート 7/6に第一回目の講座が終了しましたが、8月以降も月一回のペースで講座が開催されます。奮って参加ください。また外出困難な会員の方は送迎しますので、事務局までご相談ください。(市川事務局長)

○車椅子寄贈される この度、車イスの寄贈が二台ありました。ありがとうございます。大切に使用させていただきます。車イスを必要としている方に貸し出します。利用希望の方は事務局へご相談ください。(市川事務局長)